

# ふれあいリビング

家から近く、気さくに話ができるふれあいリビング。  
前回の焼野住宅に続き、今回は貝塚半田・岸和田荒木の2住宅を紹介します。

## 貝塚半田住宅 ふれあいリビング 「サロンチェリー」



「ふれあいリビングでは、かたい話が出てこない。楽しく話すことでストレスの発散になっているようです。」と話す野田運営委員長。「家でテレビとコタツの番をするより、ふれあいリビングでみなさんと話したい。」こんな思いをもった8人のスタッフで運営されている「サロンチェリー」は、今日も笑い声

に包まれています。

団地内にあるので、気軽に出かけられると評判のふれあいリビング。お孫さん連れて参加する人、近所同士誘い合って参加する人とさまざまです。持ち寄った花を活けるなどの小さな心配りも、盛況の大きな秘訣となっているようです。



## 岸和田荒木住宅 ふれあいリビング 「ほしがおか」



「顔なじみのメンバーが友達を連れてきます。これまであまり見かけなかった人も、ふれあいリビングに集まるようになりました。」と話すのは運営委員長の岸本さん。「ほしがおか」には1日50人あまりが集い、話はずませています。以前より町会活動が活発に行われている岸和田荒木住宅でも、ふれあいリビングの効果

は大きく、「ふれあいリビングに集まったみなさんが、老人クラブなどにも参加するようになり、今まで以上に活発に活動するようになりました。」とのこと。団地の人々が集い、新たな活動を生み出す拠点となった「ほしがおか」。今年の子育て世代も取り込んでいきたいという言葉に、その未来図が映しだされています。



注) この記事は、2009年春号のふれあいだよりに掲載されたものです。内容はすべて掲載当時のものです。